

平成29年度 租税教育実践例（第3学年）

登米市立西郷小学校

教諭 佐々木 芽衣子

1 題材名 わたしたちの暮らしと税金

2 題材の目標

税金がさまざまな方法で集められ、公共的な事業に使われていることに気付かせるとともに、公共施設の建設や地域の開発、公共サービスには税金が深く関わっていることを理解させる。また、国民生活の安定と向上を図るために、税金がいかに大切な働きをしているかを考えさせる。

3 児童の実態（男7名，女8名，計15名）

本単元に関する実態調査の結果は以下の通りである。

項 目	回 答
(1) 税金ということばを知っていますか。	・知っている(15) ・知らない(0)
(2) どんな種類の税金を知っていますか。	・消費税 ・酒税 ・たばこ税 ・家の税 ・土地の税 ・先生の給料
(3) 税金は何に使われていると思いますか。	・先生の給料。 ・みんなのために使われている。 ・学校 ・おじいちゃんやおばあちゃんの生活 ・分からない
(4) 税金を払いたいと思いますか。	・はい(6) ・いいえ(9)

実態調査から、全児童が「税金」ということばを知っていることが分かった。これは、9月に校外学習でスーパーマーケットへ行き、買い物体験をしたときに商品の値段の表示が2つあることに気付き、売り物には「消費税がかかる」ことを知ったためだと思われる。税金の使われ方として、国民の生活をよりよくするために使われているのだろうと考える児童が数名いたものの、税金が何のためにあるのか分からない児童も多くいた。以上のことから、本単元を通して、税金が国民生活の安定と向上を図るために大切なものであることを理解させ、学習を終えた児童全員に「税金を払いたい」と思わせられるようにしていきたい。

4 本時のねらい

税金の使われ方について理解し、税金の大切さに気付くことができる。

5 本時の評価規準

- ・税金の種類や使い道に関心をもち、進んで調べようとしている。【関意態】
- ・国民生活の安定と向上を図るために、税金がいかに大切な働きをしているかを考えている。【思判表】
- ・税金の集め方や、その使われ方、納税の大切さを理解している。【知理】

6 指導に当たって

本時では、税金の種類を理解させ、税金によって国民の生活が成り立っていることや、税金がないと国民のくらしが不便なものになってしまうことに気付かせたい。そこで、本時では、ゲストティーチャーを招き、クイズやDVD視聴を通して税の必要性について理解させていく。

7 学習の流れ

学 習 内 容 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・学習の様子や児童の反応 ○留意点 ※準備物等
1 本時の課題を確認する。 税金がわたしたちの生活の中で、どのように使われているか考えよう。 2 ゲストティーチャーを紹介する。 3 税金の種類について知る。 (1) 知っている税金を発表する。 ○ どんな種類の税金を知っていますか。 ・消費税 ・土地 ・家 ・相続税 ○ 日本の消費税はいくらだと思いますか。 ・8% ・3% ・5% (2) 税収について知る。 ○ 1年間の税収はいくらあると思いますか。 ・みんなから集めるから1億円かな。	○ スーパーマーケットで消費税を払ったことを思い出させ、それらの税金がどのように使われているのか興味をもって課題を解決できるようにする。 ○ 「税金のプロ」の先生であることを伝え、児童が意欲的に学べるようにする。 ○ 児童が発表した税金の種類を黒板に貼っていく。 ※ 税金の種類のマグネット ○ 児童から出なかった種類も、簡単な説明をしながら黒板に貼っていくことで、様々な種類の税金があることに気付かせる。 ○ 1億円のレプリカを実際に持つことで、57兆円が莫大な金額であることに気付かせる。 ※ 1億円レプリカ

- ・ お年玉で1万円もらったから、5万円。
- ・ 100万円くらいかな。

4 税金が使われている施設について考える。

- 税金が使われている施設と使われていない施設に分けましょう。

【使われている】

- ・ 学校 ・ 市民プール ・ 市民病院
- ・ 消防署 ・ 警察署 ・ 市役所

【使われていない】

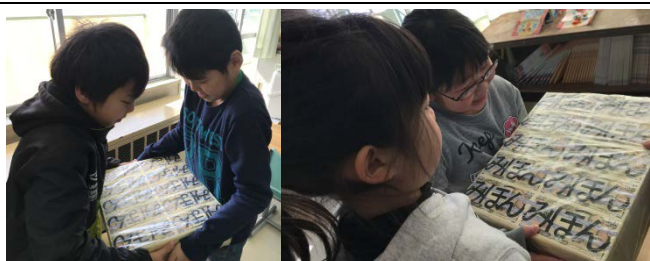
- ・ ココス ・ イオン ・ ジョイフル

5 DVD「マリンとヤマト」を鑑賞する。

- ・ キャラクターがかわいいね。
- ・ 税金がなくなったら大変だね。
- ・ 税金があると、みんなが幸せにくらせるんだね。

6 本時の学習を振り返る。

- 税金がわたしたちの生活の中でどのように使われているか理解することができましたか。
- ・ はい。とても大切なことが分かりました。
- 学習感想を発表しましょう。



- 登米市にある税金が使われている施設の写真や、税金が使われていない施設の写真を児童に見せることで身近なこととして考えることができるようにする。

※ 施設の写真

- 全児童に写真を配り、黒板に仲間分けをして貼らせる。



- DVDを視聴させることで、税金がなくなると国民のくらしが大変なものになることに気付かせる。

※DVD

※テレビ

- 児童の感想を交流させる。
- 税金が大切だと気付いた児童の感想を発表させることで、ほかの児童にも税金の大切さを再確認させる。

・ 大人になったら、きちんと税金を払おうと思います。 ・ 税金がないともしもの時に困ると思いました。 ・ 税金に様々な種類があることを知りました。	
---	--

8 授業後の児童の感想

- 税金は、みんなのお金を集めたもので信号機や橋や道路などのみんなで使うものに使っているお金だと分かりました。もしも税金がなくなると、公園や橋も使えなくなって、交番でも何かをしてもらうときにお金を払わなければいけなくなって困ります。家が火事になってしまったときにも、お金がかかって困ります。大人になったら、税金をたくさん払うようにしたいです。
- 税金は、学校や市民病院、公園や橋、警察署や消防署などに使われていることが分かりました。税金がなくなると、学校で勉強するために1年で82万円くらいかかるし、ほかにも橋や道路を通るのにもお金を払わなければいけなくなることが分かりました。
- 税金がなくなると自分たちが困るので、大切なんだと思いました。ぼくたちは、税金をちゃんと払ってみんなが困らないようにしたいです。
- 税金はみんなのお金であり、大切にしないといけないと思いました。
- 税金は、みんなが使う信号や市民プールなどに使われていることが分かりました。税金がなくなってしまうたら、公園はまるでゴミ箱のようになり、道もぼろぼろなのにお金を払って通らなくてはいけなくなってしまうことが分かりました。わたしたちは、みんなのためにお金を貯めて、税金を払うことに協力しなければいけないと思いました。

9 考察

ゲストティーチャーをお招きしての授業後、「税金を払いたいですか。」という質問を児童に再度したところ、授業前は9人の児童が「払いたくない」と回答していたが、全児童が「払いたい」と回答した。この結果や学習感想から、児童は本題材の学習目標を達成したと言える。

本題材を通して児童は、税金に興味をもつことができた。この学習をきっかけに、「租税」について更に興味をもち、将来的には納税の義務をきちんと果たせる人間に育っていくようにしていきたい。